

- このマニュアルには、枠を組立てる際に行う枠内配線の通線方法・取付け方法が記載されています。
- 枠の詳しい組み立て方については、枠梱包内組み立て説明書を参照して組み立ててください。

*お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防止するため次のような絵表示をしています。

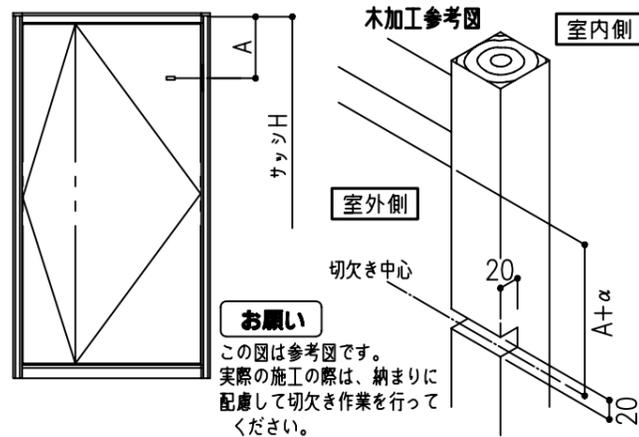
絵表示	意味
	取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示しています。

- お願い**
- 枠内配線は、必ず専用のものを使用してください。漏電や感電、故障の原因となる場合があります。
 - 枠内配線には方向性がありますので、通線方向を間違わないようにしてください。

単体・親子・片袖枠 配線工事マニュアル

■1. 配線ケーブル通線部の施工

枠から躯体への配線が必要となります。枠の配線配線取り出し口を確認のうえ枠取り付け前に必ず柱、まぐさ等に切欠き作業を行ってください。枠の配線取り出し口は、親扉吊元側の縦枠にあります。枠の取り付けは、枠梱包内取り付け説明書を参照して取り付けしてください。

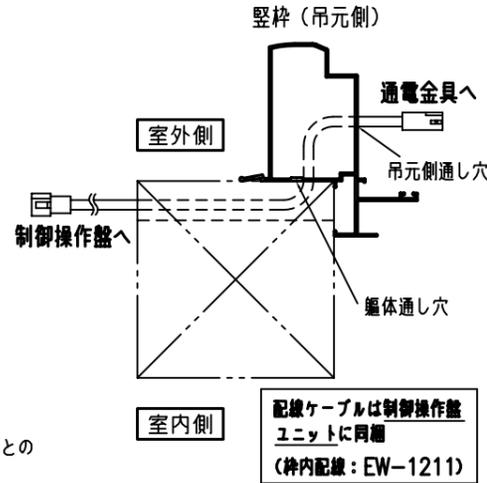


タイプ	H	DH	A
H:23タイプ	2300	2310	725
H:20タイプ	2000	2010	425

*αはドア枠と躯体（柱・まぐさ）とのチリ寸法です。

■2. 配線ケーブル通線部への配線

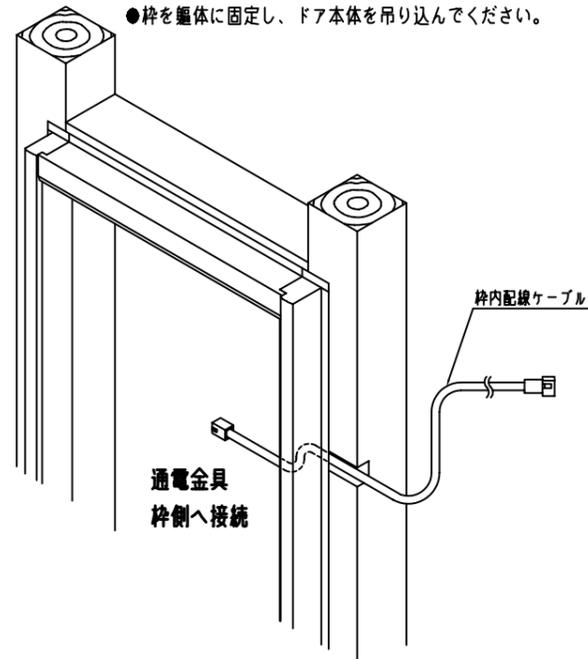
- ドア枠の配線位置と躯体のケーブル通し穴が合っていることを確認してください。
- 配線ケーブルを躯体通し穴から吊元側通し穴に通ってください。



配線ケーブルは制御操作盤ユニットに同梱（枠内配線：EW-1211）

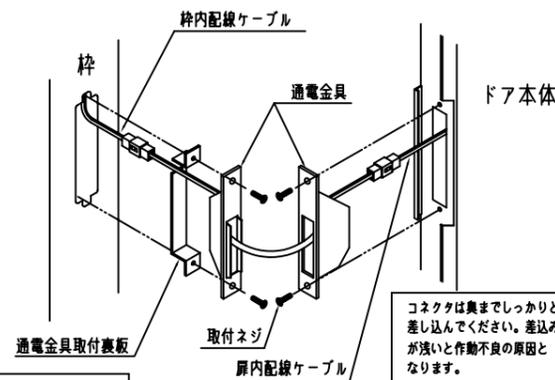
■3. 躯体への取付け

- 枠を躯体に固定し、ドア本体を吊り込んでください。



■4. 通電金具の取付け *両袖枠も同様に行ってください。

- 縦枠から出ている枠内配線ケーブルの接続と、枠側通電金具の接続を接続し、ケーブルを縦枠内に押し込んで取付け、裏板にネジ止めしてください。
- 同様に扉内配線ケーブルと扉側通電金具の接続を接続し、ケーブルを扉内に押し込んでネジ止めしてください。



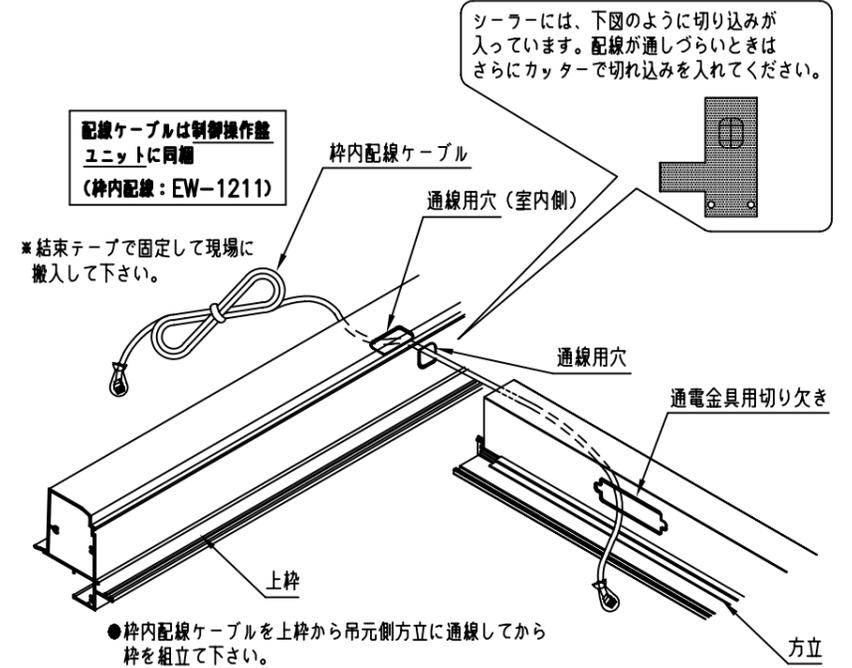
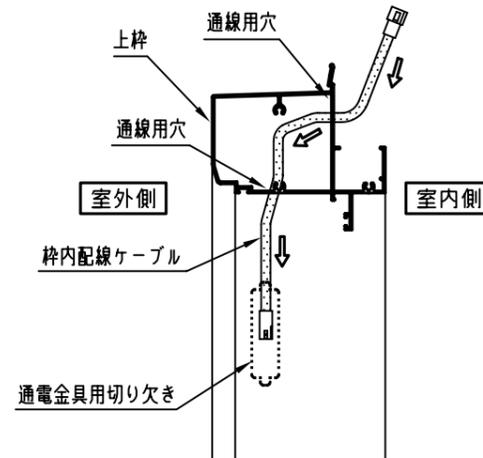
コネクタは奥までしっかりと差し込んでください。差込みが強いと作動不良の原因となります。

通電金具、通電金具裏板は枠の梱包に同梱

*本図は右勝手を示す

両袖枠 配線工事マニュアル

■1. 配線ケーブル通線方法



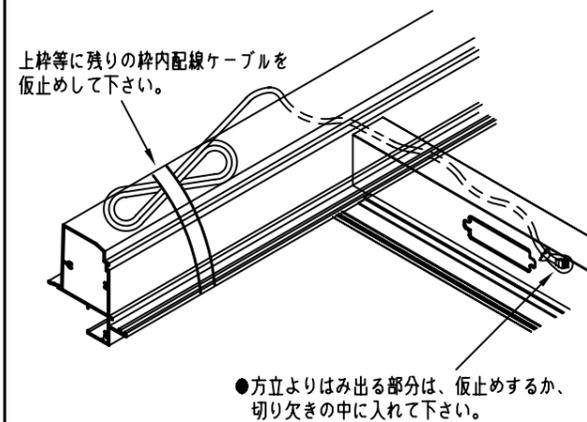
*結束テープで固定して現場に搬入して下さい。

- 枠内配線ケーブルを上枠から吊元側方立に通線してから枠を組立て下さい。

シーラーには、下図のように切り込みが入っています。配線が通しづらいときはさらにカッターで切れ込みを入れてください。

■2. 搬入方法

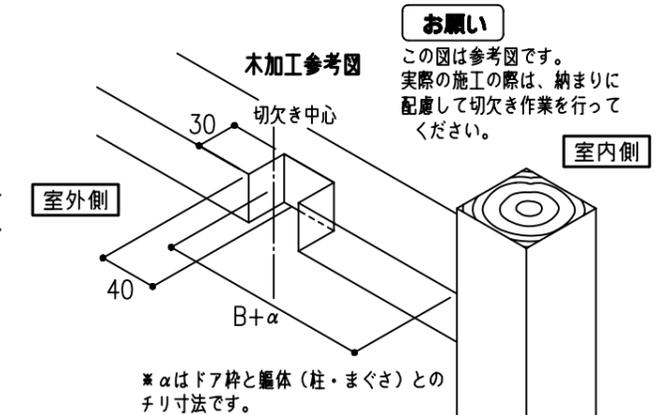
- お願い**
- 搬入及び運搬時には、枠内配線ケーブルが抜けない様に固定して下さい。



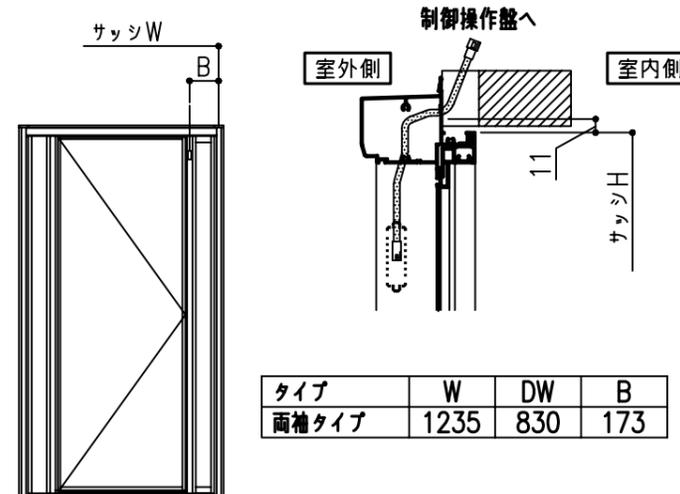
- 方立よりみ出る部分は、仮止めるか、切り欠きの中に入れて下さい。

■3. 躯体への取付け方法

枠から躯体への配線が必要となります。枠の配線配線取り出し口を確認のうえ枠取り付け前に必ず柱、まぐさに切り欠き作業を行ってください。枠の配線取り出し口は、上枠の本体吊元側にあります。枠の取り付けは、枠梱包内取り付け説明書を参照して取り付けしてください。



*αはドア枠と躯体（柱・まぐさ）とのチリ寸法です。



タイプ	W	DW	B
両袖タイプ	1235	830	173

■4. 通電金具の取付け

- 単体・親子片袖枠 配線工事マニュアルと同作業となります。（左図）